

ロータリーエンコーダスリット板 製作加工技術

【会社概要】

社名	株式会社コシブ精密
所在地	下伊那郡松川町元大島2903-33
代表者	代表取締役社長 荻原 太一
URL	http://www.koshibu.co.jp/



内径1mm 小径スリット板



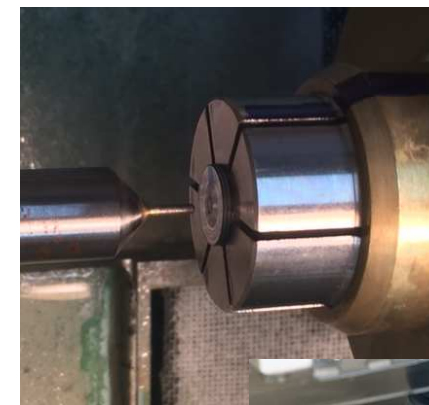
ロータリーエンコーダ
スリット板サンプル

ロータリーエンコーダスリット板製作加工技術とは

主に移動量・角度・回転量を検出するためのセンサーであるロータリーエンコーダで最も重要なパーツであるスリット板。高精度なスリットと同芯なガラス基板を一貫して作り上げる製作加工技術。

エクセレンス(優れている点)

ガラススリット板を回転させ符号化(交換)する装置であるロータリーエンコーダは、円周上にエッチングされた微細なスリット(パターン)と内径、外径を同軸で製作する必要があるが、独自開発した加工技術で0.01mm以下の同軸度を実現し、ロータリーエンコーダ市場にスリット板の提供を可能にした。薄膜成膜からエッチング、ガラス切断加工まで社内一貫加工を行い、産業用ロボットから医療まで幅広い分野で展開する。



ロータリーエンコーダ
スリット板加工技術